ふくサポ！スタッフ紹介4

ふくサポの高見沢さん（アルフィー）ことクールな彼の本業は設計士。設計図はお手のものとばかりに、ふくサポリーフレットの館内見取り図を作成。細かい作業が得意で、機械に強いため、利用頻度が高い紙折り機などのメンテナンスを担当することが多い。

近野　豊

ふくサポの小室哲也。本業がシステムエンジニアという彼はパソコンのメンテナンス関係を担当。そのため、ふくサポに仕事で来るのは数か月に１回程度。彼にふくサポで出会えるのは四葉のクローバーをみつけるようにレア！出会えた方は何かいいことがあるかもしれません？！！

渡部　直紀

ふくサポ探検隊~交流広場使い方色々~

１１月、１２月はこんな利用がありました！！

原発事故後を考える「画文と短歌の二人展」

主催：「原発事故」後を考える福島の会

ベラルーシで放射能の健康被害に不安を抱えながら生きる人々を絵と文で描いた画家・貝原氏や原発地域に暮らす人々の苦悩などを短歌で表現してきた双葉郡大熊町の佐藤氏の作品など原発をテーマにした作品が展示された。

「復興チャリティー東北祭り写真展」

主催：福島県民俗芸能文化写真映像協会

各地の色々な祭りの様子をとらえた、東北のアマチュアカメラマンが撮影した、東北の祭りの迫力ある写真が展示された。

「私のすきな絵本展」

主催：おはなし夜会

活動１０周年を記念して行なわれた絵本展。活動メンバーやこの１０年で出会った人々２０名の絵本に対する想いとその絵本を展示した。それぞれが生きてきた背景や絵本の魅力いっぱいの展示に「なつかしい。」と語る見学者も少なくなかった。

「団士郎　家族漫画展」

主催：ＮＰＯ法人ビーンズふくしま

団士郎先生の「木陰の物語」の原画が展示された。家族のたたずむ木陰にはそれぞれの物語が存在する。だれにでも心当たりがあるその日常を切り取った漫画展に涙する見学者もあった。

にゃんこ隊長

～お知らせ～

交流広場で、活動紹介、作品などの展示をおこなってみませんか？ギャラリー形式で部屋全体を使う展示でも、パネル１～２枚程度を使っての展示でも使い方は自由です。登録団体の方の利用は無料となります。活動をＰＲするチャンス！
是非、ご活用ください。展示希望の方はふくサポまでご相談ください。

編集後記

間もなくお正月。お正月には初詣に出かけられる方も多いのでは？初詣が行われるようになったのは江戸時代後期のこと、毎年変わる歳神様のいる恵方の神社に参拝するのが庶民の間で流行ったのがきっかけと言われています。それが、現代のような初詣になったのは明治時代のこと。朝廷で行われている元旦の儀式に連動させ、元旦に特別な意味をもたせたそうです。
初詣、近くの神社に行く人や遠方まで出かける人、様々です。ここ数年のベスト３をみると、１位に明治神宮、２位に成田山新勝寺、３位に川崎大師と関東が目立ちますが、福島市でも元旦に稲荷神社に行くと長蛇の列を目にします。新年、「今年こそは」と、それぞれの願いを込めて神様にお願いをする姿こそが日本の伝統なのかもしれませんね。私達も２０１３年、「たくさんの皆様とよい出会いがありますように」と、願いをこめて手をあわせてみたいと思います。　　内山、桜井

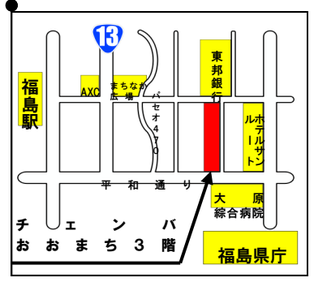
ふくサポ通信

福島市市民活動サポートセンター通信
2012年12・1月号
発行日：２０１２年１２月３１日
編集：特定非営利活動法人
ふくしまNPOネットワークセンター
発行：福島市市民活動
サポートセンター
〒960-8041
福島市大町4-１５
チェンバおおまち ３階
TEL：０２４-５２６-４５３３
FAX：０２４-５２６-４５６０
URL：http://www.f-ssc.jp
E-mail:f-ssc@bz01.plala.or.jp

■開館時間
午前１０時～午後９時３０分

ふくサポとは・・・
・市民活動やボランティアの情報を提供しています。
・市民活動やボランティアに関するご相談にお答えします。
・登録制のレターケースや印刷スペース、打ち合わせができるスペース等をご用意しております。
なお、ふくサポの運営は福島市から委託を受けたNPO法人ふくしまNPOネットワークセンターが行っています。

ふくサポの連絡先はこちらから



◇JR福島駅から徒歩8分。当サポートセンターには駐車場はありませんので、車でお越しの節は、周辺駐車場をご利用くださるようお願いいたします。

コラム

「福島市民が見たチェルノブイリ被災地」

福島大学教授／
ＮＰＯ法人　ふくしまＮＰＯネットワークセンター理事
清水修二

今年の夏、福島市がベラルーシから２人のゲストをお呼びして放射線に関する市民フォーラムを開催したところ、広い会場が満席になる盛況でした。市長は、今度は福島市民をベラルーシに派遣して現地での放射線対策をじかに見聞する機会を作りたいとのお考えで、自らも加わり30人の視察団を編成して、11月に現地訪問が実現しました。担当事務局は市民活動支援課、私はコーディネーターとして同行しました。

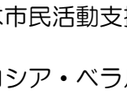
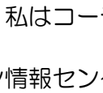
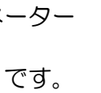
最初に訪問したのは「ロシア・ベラルーシ情報センター」です。福島原発事故の後、日本からはすでに25代表団の200人を迎え入れているとのことです。国内50か所に配置された情報センターの総司令部がここで、災害の情報拠点を１つにすることの重要性などが強調されました。

ミンスク郊外にある「ジダノーヴィチ」という名の保養施設では、子どもたちの大変な歓迎を受けました。被災地の子どもたちは年に1回24日間、全国に14ヶ所あるこうした施設でのびのびと過ごす権利をもっています。子どもたちは施設に来たときと帰るときに体内の放射線量を測定しますが、若干の数値の差が出るそうです。26年たっても食べ物経由の内部被曝がまだなくならない厳しい現実を物語っています。

小児がんセンターでは思いがけない情報を得ました。白血病は事故後５年ほどで出ると予想されたものの、結局出なかった。しかし事故の年とその翌年に２～３倍に増えているというのです。もともとそういう体質の人が発症したのではないかという説明でした。また先天異常の発症率は汚染地域の内と外とで違いはないという話には安心しました。

ゴメリ州に移動して、モズリという町に案内されました。州知事の出身地だそうで被災地ですが、ここでも大変な歓迎ぶりで、モズリ市としてはぜひとも福島市と長い交流を持ちたいと願っている様子です。産院を訪問して医師の説明を聞きましたが、中絶や流産が急に増えるといった事態は生じなかったということです。

もくじ

○コラム
「福島市民が見たチェルノブイリ被災地」
○福島市の活動団体を訪ねる
第２４回　ＮＰＯ法人　にじの会
○イベント現場からレポート
「ひまわり感謝祭」　他
○助成金・イベント情報
○市民活動講座を開催しています
○ふくサポ探検隊　～交流広場使い方色々～

福島市の活動団体を訪ねる

２４回目　ＮＰＯ法人　にじの会

代表者：会長　加藤　三保子
事務所所在地：福島市西中央二丁目２３－１
連絡先：ＴＥＬ　０２４－５２９－７０２１
ＵＲＬ：http：//nponiji．com
会　員：１５０名
活動歴：1981年　点字の勉強会をスタート
1983年「にじの会」の名称で活動スタート
2007年　ＮＰＯ法人化
2009年「福島視覚情報サポートセンターにじ」を開設
活動目的：視聴覚者のニーズに応じた各種支援事業を行い、視聴覚者の情報収集並びに社会参加の向上に寄与するとともに、視覚障がい者福祉の啓発活動を行うことによって、視覚障がい者の福祉の向上を図る。

閑静な住宅街にＮＰＯ法人にじの会が開設している「福島視覚情報サポートセンターにじ」に加藤三保子会長をお訪ねして会の活動について伺ってきました。会長さんは、「この活動は日常です」と語ります。

さっそく活動についてお尋ねしました。

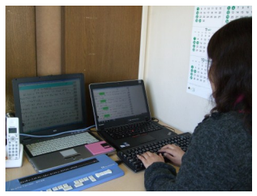
ＮＰＯ法人にじの会の活動には５つの柱があります。

ひとつ目が**社会参加支援**。中途で視覚障害になった方が点字をマスターするためのサポート、パソコンや携帯電話など機器の操作のサポート、今読みたい本、必要な情報を対面で読む対面リーディングサービスのほか、交流会や小旅行、ウオーキングやバザーなどの交流活動を行っています。バザーは、毎年11月、ウオーキングは月１回（冬期間を除く）実施しています。

ふたつ目が**情報収集支援活動**。専門書や時刻表、小説、機器の取扱説明書などのプライベートの点訳と音訳や広報誌の作成を行っています。

三つ目が**ボランティア養成活動**。点訳者や音訳者の養成講習会とガイドボランティア講習会を開催しています。

（下写真）
点訳の様子



四つ目が**会員研修**。会員が定期的に集まり、一層のスキルアップを目指しています。

最後に**普及・啓発活動**ですが、目の不自由な方や点訳・音訳・ガイドについて、より多くの方に知っていただくため、小中学校で点字体験などの教室を開催したり、会報「にじ」を発行するなどの普及・啓発活動を行っています。

活動に大切なことは何でしょうか？

ボランティアの方には、活動半ばに状況が変わったりして、継続できない方もいます。そんな方も含めて会が継続して同じような状況で活動ができる体制を整えることが大切だと思います。

（下写真）ウォーキングで交流

最後に地域の皆さんにお願いしたいことは？

街で視覚障がい者の方が困っていたり、戸惑っていたりしているところを見かけたり、危ない場面に遭遇したら気軽に声をかけて助けて助けてあげてほしいです。声がかけずらかったりすることもあるかと思うのですが、ほんの少しの勇気でいいので、福島の人がみんな、ためらわず手を差し伸べられるような街だったらいいと思います。

にじの会の活動に興味のある方は、是非活動を覗いてみてください。

サポワン

イベント現場からレポート

笑いと学びと食

ＮＰＯ法人まごころサービスふくしまセンター主催で、「笑いと学びと食」をテーマとしたイベントが１２月１日(土) 高湯の里「うららか広場」にて開催された。田中尚輝氏の被災地行脚報告を中心とした講演会、ややまひろし氏の漫談、チャンチャン鍋汁を囲んでのワークショップなど会場は多くの人でにぎわっていた。

（下写真）講演会

桜井スタッフ

内山スタッフ

市民後見養成研修会

ＮＰＯ法人ふくしま成年後見センター主催「市民後見人研修会」が福島市市民活動サポートセンターで１１月１０日、１７日、２４日、１２月１日の４日間にわたり開催されました。４０名の参加があり、成年後見人制度の担い手となるため熱心に講義に耳を傾けていました。

（右写真）熱心に学ぶ受講者

さをり織りの仲間たちーみんないっしょの芸術祭

就労継続支援Ｂ型事業所「アートさをり」は１１月２４日～２８日にコラッセふくしまにおいて「さをり織りの仲間たちーみんないっしょの芸術祭」を開催した。会場には個性あふれる色とりどりの作品が展示され、魅了される人たちであふれていた。訪れた人たちは目を奪われていた。

（上写真）芸術祭の様子

いわむらかずお絵本原画展　おはなし会

福島民報社主催で中合福島店にて開催されたいわむらかずお絵本原画展の絵本読み聞かせコーナーに１１月３日(土)、おはなし夜会の皆さんが登場しました。仕掛け絵本や手遊びも取り入れた楽しい内容のおはなし会でした。

（上写真）おはなし会の様子

私のすきな絵本展

おはなし夜会主催、活動１０周年記念「私のすきな絵本展」が１２月８日(土)にコラッセふくしまにおいて、開催された。夜会の皆さんと会にご縁のある方々の大好きな絵本を紹介する展示や絵本の読み聞かせが行われ、絵本の魅力を再発見する素敵な機会となった。

（上写真）おはなし会の様子

ひまわり感謝祭

（下写真）コンサートの様子

ＮＰＯ法人シャローム主催で１２月１５日(土)にＡ・Ｏ・Ｚ（アオウゼ）においてひまわり感謝祭が開催された。障がいをもつ仲間たち・市民などの参加者がつくるピアノなどの楽器の演奏やダンス、演劇といった様々なステージとＮＰＯ・市民活動団体などによる展示と販売などが行われた。展示ブースでは、再生エネルギーの展示とともにベラルーシ公式映像を用いてのＮＰＯ法人ふくしま飛行協会理事長齋藤善章氏による講演、ハワイの市民活動団体によるワークショップ、ＮＰＯ法人市民後見サポートの会による成年後見相談など様々な催しが所狭しと並んだ。会場一角にある飯館村から避難されてい仮設住宅の皆さんで作り上げたタペストリーは１つの村をコンセプトに製作されており、見学者は感嘆の声をもらしていた。

（下写真）齋藤氏の講演会　（下写真）タペストリーを見る来場者

助成金 活動支援 情報

※詳しい情報はふくサポホームページもしくはふくサポ館内に掲示してあります
（担当：桜井千鶴子）

平成２５年度地球環境基金助成金募集

〈対象〉民間団体が行う環境保全に資する活動
一般助成…先進性や波及効果の高い広域的な活動
入門助成…地球環境基金から助成を受けたことがない団体が行う活動
特別助成…平成24年度に特別助成を受けて実施した活動
〈助成金額〉一般助成…100～400万円。大型案件は概ね800万円
入門助成…50～400万円
特別助成…100～400万円。大型案件は概ね800万円
〈応募締切〉平成２５年１月２５日（金）
〈お問合せ先〉
独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部地球環境基金課
電話　０４４-５２０-９５０５

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業（第10次）

〈対象〉被災地をはじめ全国で、東日本大震災で被災された方がたへの救援・支援活動を現に行うボランティアグループ、NPO法人、公益法人等
〈助成金額〉
短期(おおむね１か月未満)の活動…50万円以内
中長期(１か月以上)の活動…300万円以内
〈応募締切〉平成２５年１月２５日（金）
〈お問合せ先〉社会福祉法人 中央共同募金会
企画広報部（ボラサポ担当）
電話　０３-３５８１-３８４６

一般財団法人人間塾　第２回実践活動助成

〈対象〉これからの時代を担う若者たちが、自らの可能性や能力に気づき、それらを社会や他者に対して惜しみなく発揮していけるようなプログラムや活動を行っている団体。岩手県・宮城県・福島県で活動をしている団体。
〈助成金額〉１件につき、上限100万円
〈応募締切〉平成２５年１月３１日（木）
〈お問合せ先〉
一般財団法人 人間塾事務局 助成金担当
電話　０３-６２７２-６１４７

セブン - イレブン記念財団 2013年度公募助成

〈対象〉自然環境の保護・保全、野生動植物種の保護・保全、体験型環境学習活動、環境の負荷を軽減する生活をテーマにした活動、清掃活動、植花活動
〈助成金額〉上限20万円～440万円 等
（助成内容により異なる）
〈応募締切〉平成２５年１月３１日（木）
〈お問合せ先〉
一般財団法人 セブン - イレブン記念財団
電話 ０３-６２３８-３８７２

「ＬＵＳＨチャリティバンク」助成

〈対象〉①被災地の復興支援活動、被災された方たちへの支援活動　②環境保護活動、動物の福祉/動物の権利擁護活動、人道支援/人権擁護活動
③東日本大震災により困難な状況で生活している子どもたちに、楽しみやレクリエーション活動を届ける活動
〈助成金額〉①、②、③とも10～200万円予定
〈応募締切〉①、③毎月月末　②偶数月の月末
〈お問合せ先〉株式会社ラッシュジャパン
①、②チャリティポット係　③FunD事務局
電話　０３－５７８１－９５６７

※詳しい情報はふくサポホームページもしくはふくサポ館内に掲示してあります
（担当：桜井千鶴子）

成年後見に関する「定期相談会」

〈日時〉毎月第1土曜日　14:00～16:00
（1月5日・2月2日・3月2日）
〈場所〉福島市市民活動サポートセンター
（チェンバおおまち3Ｆ、東邦銀行本店前）
〈内容〉成年後見に関する事項（申立て手続き含む）
〈相談者〉専門相談員（専門研修を修了した者）
〈申込〉原則予約（当日も可）…電話又はファックスで
〈お問合せ先〉特定非営利活動法人
ふくしま成年後見センター
ＴＥＬ/ＦＡＸ　０２４－５３５－５４５１

「認知症に関する定例のつどい・相談会」

こんな症状のとき、どう接すればいいの？
介護がつらい、話を聞いてほしい等…
〈場所〉福島市保健福祉センター
〈日時〉毎月第2日曜日　13:30～15:30
（1月13日・2月10日・3月10日）
〈参加費〉無料
相談会(つどい)では「ああ、自分だけではないんだ」と思い、そうすると気持ちが軽くなって、生きること、介護することへの勇気がわいてきます。他の方の知恵や工夫を知り、情報も交換できます。
〈お問合せ先〉公益社団法人
認知症の人と家族の会福島地区会
代表世話人　井桁
ＴＥＬ/ＦＡＸ ０２４－５２２－７８８６

～考えてみませんか？安心できる今日・明日～

◎成年後見制度　説明会
◎後見に関する個別相談会

高齢期を迎えた方が、最後まで安心して自分らしく生活をおくれるよう手助けをしてくれるこの制度を、わかりやすく説明いたします
〈日時〉毎月第2木曜日
（1月10日・2月14日・3月14日）
10:00～11:30　18:30～20:00
＊夜の部は偶数月のみの開催
〈場所〉福島市中央学習センター
〈参加費〉無料（別途資料代300円）
〈お問合せ先〉
ＮＰＯ法人 市民後見サポートの会
ＴＥＬ/ＦＡＸ ０２４－５２２－１４２６

市民活動講座を開催しています

①「税務・会計講座　基本編～伝授！税務・会計のいろは～」
１月１９日（土）１３：３０～１６：３０
講師：安部修太郎氏
（安部総合会計事務所代表取締役　税理士）
ＮＰＯ法の改正により変更になった会計に関して学べます。是非ご参加ください。
場所：福島市市民活動サポートセンター
参加費：無料　　定員：３０名

②「会計講座　実務編～会計をパソコンで学ぼう！～」
１月２５日（金）・２６日（土）１３：３０～１６：３０
講師：早川哲郎氏（ＩＴコンサルティング早川事務所代表）
※２５日,２６日両日同一の講座です。
新しいＮＰＯの会計にあわせたソフトを使い、パソコンを使った実践術。講座を離れ、活動団体に戻って即実践できます。是非ご参加ください。
場所：福島市市民活動サポートセンター
参加費：無料　　定員：両日とも15名

「変わりゆく福島
～ニーズと支援・市民活動の成長～」
２月１６日（土）１３：３０～１５：３０
（パネルディスカッション）
コーディネーター／清水修二氏
（福島大学教授・
認定ＮＰＯ法人ふくしまＮＰＯネットワークセンター理事）
パネリスト／深田俊雄氏（チョコラボチーフ）
本間美雪氏（福島大学災害ボランティアセンター）他
震災から1年以上が経過し、福島県内でもニーズが大きく変化した。この変化に合わせ、支援する団体の活動も大きく変わっている。そんな変動の中連携をとりながら活動に取り組んでいる市民活動団体の現状や課題を問う。これからの福島を考えよう。
場所：福島市市民活動サポートセンター
参加費：無料　　定員：８０名
※この講座は「市民活動フォーラム　２０１３」と同時開催致します。

終了しました

ＮＰＯマネジメント講座１
「助成金・補助金講座　基本編
～基礎から学ぼう！資金調達術～」
日付：１０月２７日（土）終了
講師：星野珙二氏（福島大学教授）

ＮＰＯマネジメント講座２
「助成金・補助金講座　実践編
～審査員目線を知る！選定される申請書の虎の巻～」
日付：１１月　５日（月）終了
講師：田尻佳史氏
（ＮＰＯ法人日本ＮＰＯセンター常務理事・事務局長）

市民活動ステップアップ講座２
「福島の今講座　福祉をみつめる
～協働が生んだ市民活動事業～」
日付：１１月１７日（土）終了
コーディネーター：齋藤美佐氏
（ＮＰＯ法人ふくしまＮＰＯネットワークセンター常務理事）
パネリスト：
神長倉正満氏
（社会福祉法人浪江町社会福祉協議会生活支援相談員）他

市民活動ステップアップ講座３（公募企画）
「ネットワークを育てる!人を育てる！
まちづくりプランニング
～協働のまちづくりを考えよう～」
日付：１２月１５日（土）終了
講師：宮﨑秀剛氏（ＮＰＯ法人くらそうねっと理事長）